

# 令和8年度 嶺北高等学校 学校経営計画

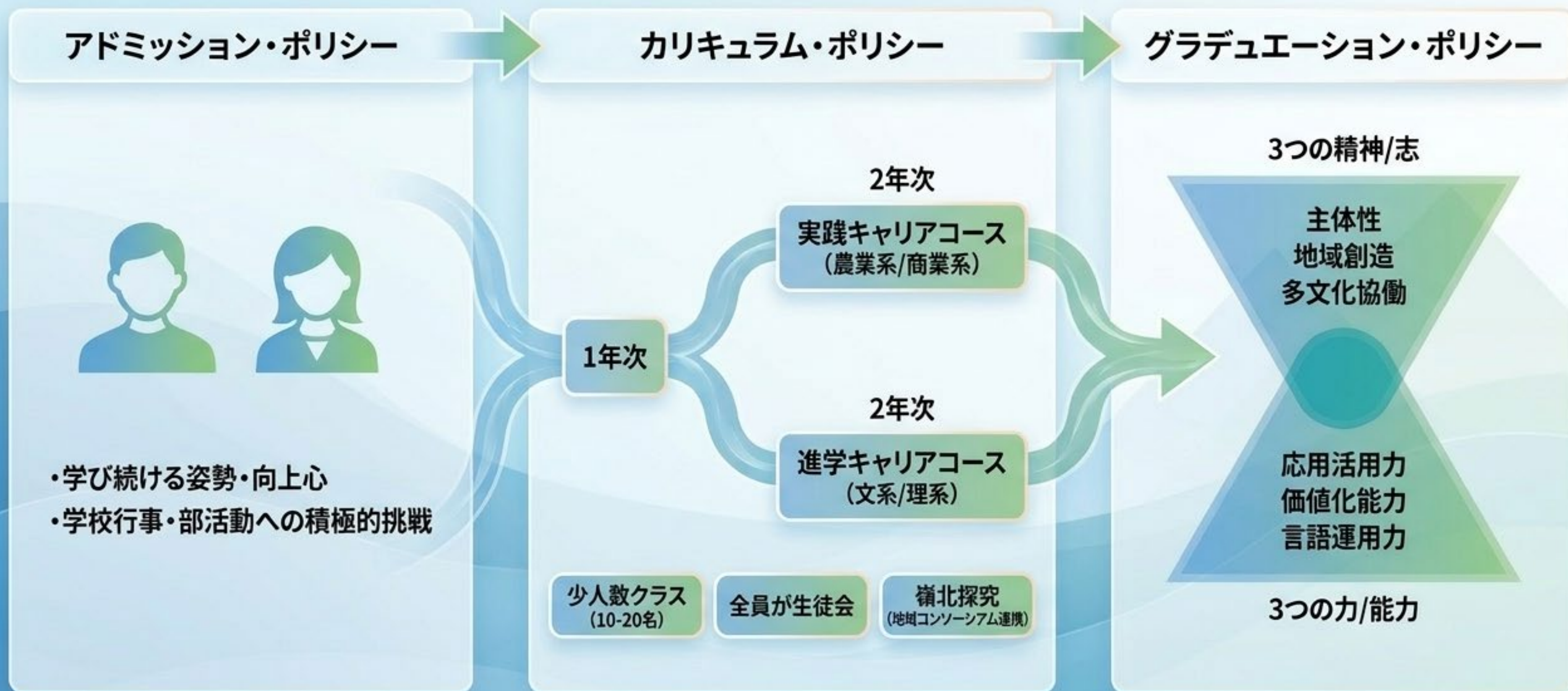
持続可能な地域社会を創造する次世代人財の育成

# 高知の未来を切り拓く。持続可能な社会を担う人材を「吉野川流域」から育む



スクール・ミッション：吉野川流域の豊かな自然資源を生かした教育活動の実践により、主体性や協働する力を育み、持続可能な社会の実現に向けて地域社会に貢献する人材を育成する。

# どのような生徒を迎え、どう育て、どんな人材として社会へ送り出すのか



# ビジョンを実現するための4つの戦略の柱と、盤石な学校基盤



# 確かな学力：「自己の将来」を見据えた自律的な学びのサイクルを回す



C層以上の生徒



D3層の生徒



自主学習の理解度



将来のための勉強



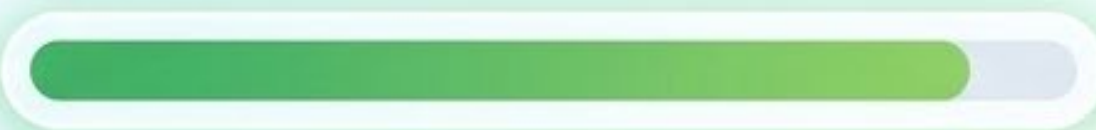
# 社会性の育成：多様性の尊重と、自ら社会へ参画する「実行力」の獲得

計画実行力（いつまでに何をするか決めて実行）



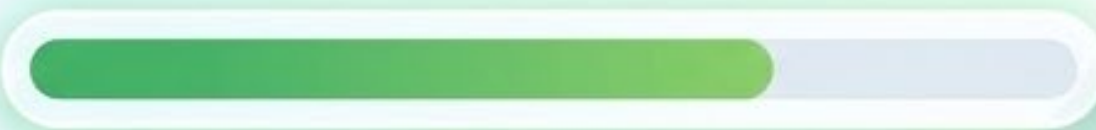
目標 **90%**以上

社会貢献活動（実際にボランティア等を行っている）



目標 **90%**以上

1年次末の進路希望決定率



目標 **70%**以上

卒業時進路決定率



目標 **100%**



タブレット・スケジュール帳での  
自己管理（予定管理・読書記録）



キャリアパスポートを  
活用した個人面談



嶺北探究・地域イベントへの  
主体的な運営参加

# 地域協働学習：吉野川流域全体をキャンパスとした「マイプロジェクト」の展開

1  
マイプロジェクト  
2年生全グループ参加/  
全国大会1チーム選出

2  
地域サミット・成果  
発表会  
全学年実施

3  
地域協働コンソーシアム  
地域関係機関との強固な連携

4  
生徒会活動  
校則見直し、生徒総会2回、  
会長立候補3名以上  
(全員が生徒会)

KPI: 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考える」  
肯定的回答 80%以上

# 教科横断的教育：知識を「価値」に変える、商品開発のバリューチェーン

教科の枠を超え、学習基盤（言語能力・情報活用能力）を実社会での課題解決に直結させるプロセス。



# チーム学校：6年間の一貫教育と「魅力化」による共創空間の構築



れいほく未来創造協議会・公設塾との連携体制 / 広報活動 (SNS/すぐーる) の強化

# 学校運営の基盤：持続可能な教育活動を支える「働き方改革」と「高い倫理観」

## 働き方改革



時間外業務  
月45時間未満（100%達成）  
年360時間未満（100%達成）



・分掌業務の全教員輪番制



・部活動の複数配置



・ICT電子決裁・ペーパーレス化

## 不祥事防止



年間不祥事発生件数  
0件（絶対目標）



・不祥事防止委員会の定期開催



・教職員のメンタルヘルス面談  
（年2回以上）



・風通しの良い職場風土づくり

# 持続可能な地域社会を創造する次世代人財の育成



生徒・教員・地域が循環し、ともに成長するループ